

デジタルでも変わらぬおもてなしを。非対面コミュニケーションサービス「crotta(クロッタ)」

新たにゲストスマホを利用したサービスが登場

ルーツ (名古屋市中区) は、宿泊施設向けコミュニケーションツール「crotta(クロッタ)」を開発・提供している。客室タブレット版・客室スマートテレビ版に続き、今回スマホ版が登場。crottaは、マルチデバイス型のサービスとなっており、宿泊施設の設備環境や提供するサービス等に応じて最適なデバイスを選択できる。いずれのデバイスもひとつのコンテンツ管理システム (CMS) で管理ができ、非対面・非接触のおもてなしで、サービスの品質維持・向上を実現する crotta サービスに迫る。

すべてのデバイスを一元管理

非対面でのおもてなし

crottaは、2018年に客室インフォメーションサービスとして登場した。それまで紙での案内・スタッフが直接案内していたことをcrottaに集約することで業務軽減を実現している。感染症拡大以降には非対面でのコミュニケーションツールとしても施設で活躍し、施設での滞在時間が長くなった事もあり、滞在中のアップセルをcrottaが貢献している。

2021年にはTVサービスのcrotta TVが登場。宿泊施設で設置が進んでいる新たなゲストのニーズに合わせるスマートテレビで、crotta TVを提供している。TVサービスではウェルカムシーンの演出、宿泊者同士で同じ画面を共有しながら次の日の観光情報を閲覧できるなどTVならではのインフォメーションの提供ができる。

2022年5月よりcrottaシリーズ第3段となるcrotta スマホが登場。これまででは客室でのみ利用できるサービスであったがcrotta スマホは来館前から情報提供が可能。旅マエ・旅ナカ・旅アトとシーンによって情報の出し分けができるので、適切なタイミングで宿泊者に情報の提供が可能である。同社によれば、3デバイスを一元管理できるインフォメーションシステムはcrottaが初だという。

デバイスの切替も使い分けもできる

crottaの運用に必要なコンテンツ管理システム (CMS) は、どのデバイスであってもすべて共通。ひとつのCMSで一元管理ができる。

ホテル・旅館の設備環境やサービスの品質によってデバイスを使い分けたり、併用したりすることもできる。例えば同一施設内でスマートテレビとスマホ

旅マエから旅アトまでをサポート

crotta スマホの利用に際しては、QRコードを読み取って専用サイトにアクセスしてもらい、アプリのダウンロード等は一切不要。滞在中だけに、来館前のオーダー・館内施設の予約受付、チェックアウト後のアンケート回収等、旅マエ・旅ナカ・旅アトのあらゆるシーンでのコミュニケーションに活用できる。基本サービスのほか、1施設あたり月額3万円から (初期設定料別)。専用機器の購入や設置工事の必要が無いため、大規模施設のホを追加する「スマホホテ」も用意。ズナアルかつ手軽にサービスを始められる。

crotta TV

客室スマートテレビ
「crottaTV (クロッタテレビ)」



地上波も、エンタメも、
インフォメーションも
これ一台で。

業務効率化と単価アップに

非対面・非接触のおもてなしに対応するため、客室インフォメーションサービスへの関心が高まっています。サービスの提供に必要な端末の購入代金が負担になり、別のサービスに切り替えたいと思っても、端末ごと買い替えが必要になるなどの理由で導入に時間を要し、そのうちに端末の機能向上が進んで再検討になってしまうことが少なくありませんでした。



ルーツ 代表取締役 石田真也氏

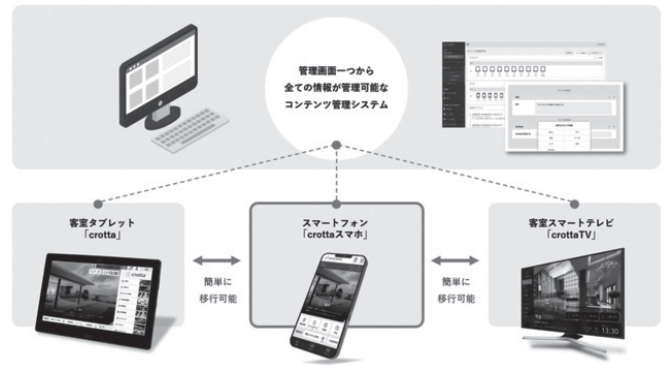
crottaは、豊富な機能を取り揃えており、宿泊施設のサービスに沿ったあらゆるサービスを提供できます。豊富な機能を有効活用して、アップセルに繋がるメッセージを個別に送信したり、急な営業時間の変更にも迅速に対応できたりと、業務効率化と戦略的に活用することができます。

ルーツとインテグラルがグループ企業に「オクトプレクサー」の導入でPMSとの連携強化を

crottaを提供するルーツは、6月1日にマルチインターフェース「オクトプレクサー」を開発・販売するインテグラル (千葉県船橋市) とグループ会社になった。

オクトプレクサーは、PMS・ホテル基幹システムと、PBXやVOD、カードキー、ルームマネジメント等の各種サブシステムとを統括的に連携・接続できるもの。オラクル社のPMS「Opera」シリーズのパートナーライセンスを有するほか、国内企業が開発したPMS各種にも対応できる。

通常、PMSとサブシステムとの接続には、一部のケースを除いて技術的な連携作業が必要になるため、連携のための作業時間やコストが導入のネックになることも少なくない。オクトプレクサーの導入によって、こうした連携作業が必要なくなり、サブシステムの導入を促進。DXによる宿泊満足度の向上や現場の業務効率化を進化させる効果が期待される。今後、crottaシリーズをホテル・旅館の現行のPMSと接続させることでさらなる相乗効果が期待できる。



crotta®

客室タブレット
「crotta (クロッタ)」



宿泊施設にITで、
顧客満足と業務改善を。

crotta TV

客室スマートテレビ
「crottaTV (クロッタテレビ)」



地上波も、エンタメも、
インフォメーションもこれ一台で。

crotta スマホ

スマートフォン
「クロッタスマホ」



ゲストのスマホでも
コミュニケーション&
インフォメーション

crottaシリーズで利用できる新サービスのご紹介!!

NEW

- 01 PMS連携で
客室決済・チェックアウト
- 02 PBX・クラウドPBX契約不要の
客室内線電話
- 03 タブレットで照明・
空調制御IoT連携

